

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県 三木市

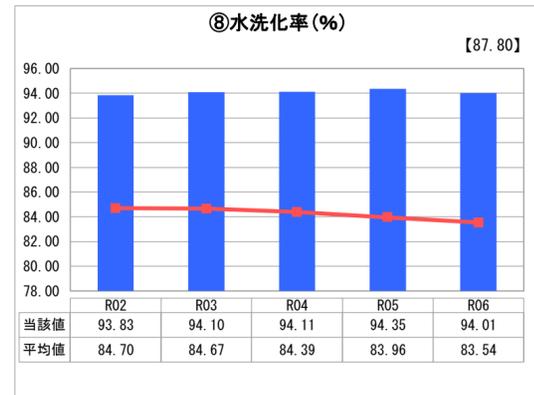
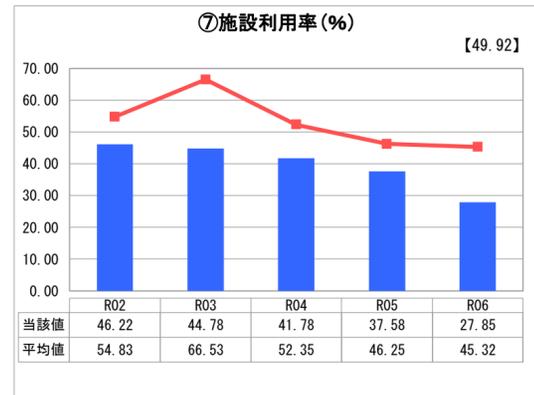
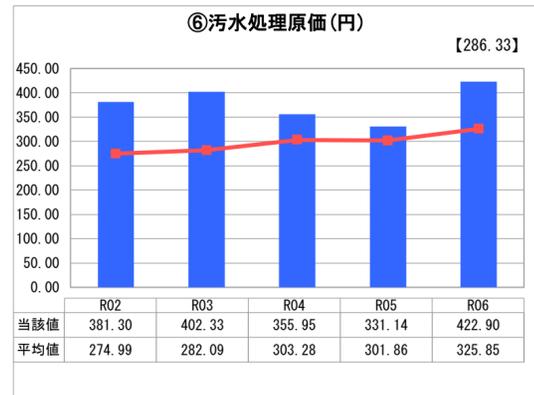
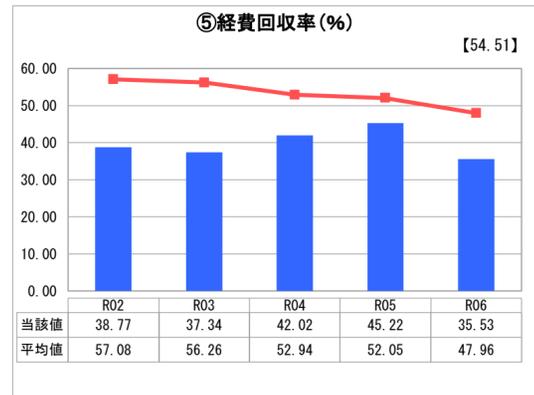
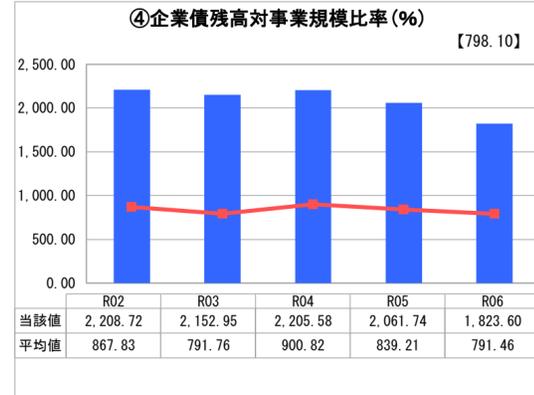
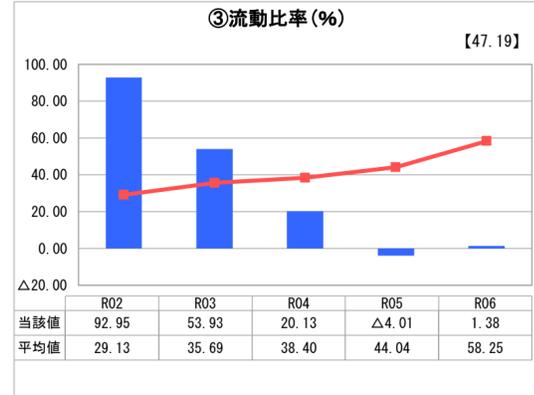
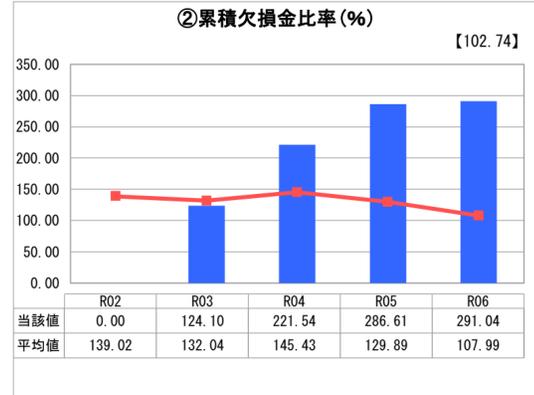
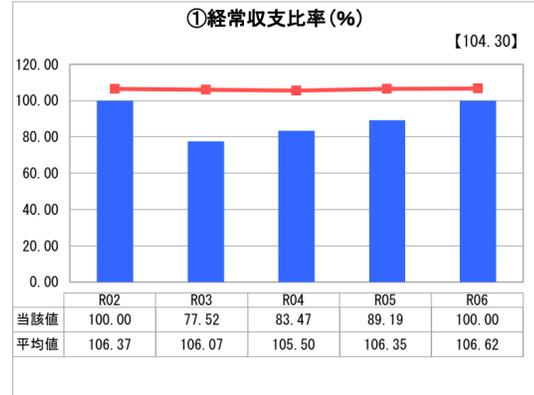
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.13	1.63	148.14	2,640

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
73,091	176.51	414.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,186	2.30	515.65

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

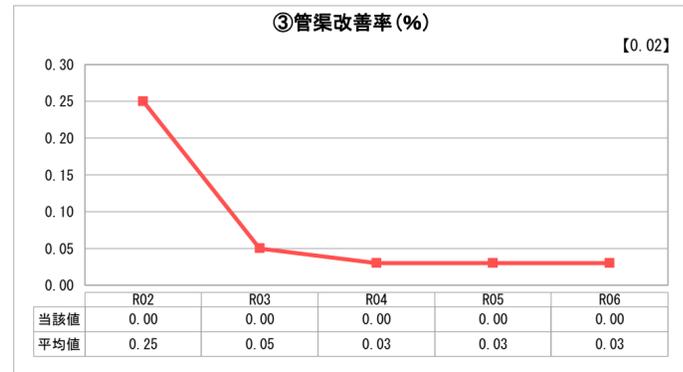
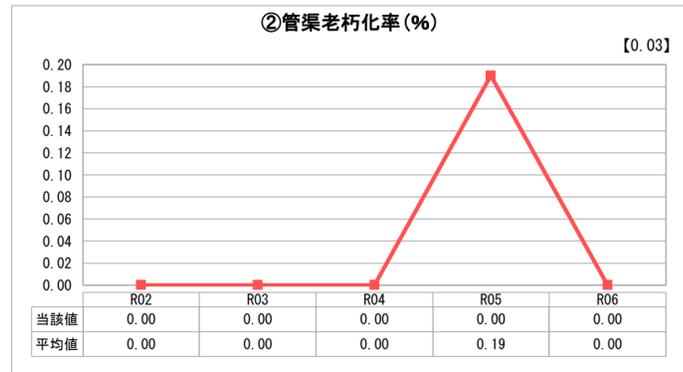
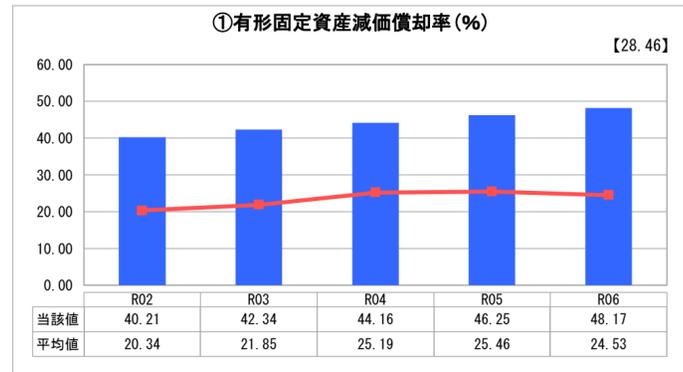
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%であるが、これは赤字相当額を一般会計より繰入しているため、自主財源で賄えるよう経営改善が必要である。
 ② 累積欠損金が蓄積しているため、施設の統廃合も含めた抜本的な経営改善が必要である。
 ③ 流動比率は、類似団体平均より大きく下回っていることから、早急に効率的な経営改善に取り組む必要がある。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、償還が進んだことに伴い前年度より減少しているものの、類似団体平均を大幅に上回っていることから、更なる企業債の削減が必要である。
 ⑤ 経費回収率は、100%を下回っており、類似団体平均も下回っていることから、適正な使用料収入の確保及び経費削減が必要である。
 ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均を上回っており、当市の公共下水道と特定環境保全公共下水道と比較しても高い水準であるため、抜本的な経営改善が必要である。
 ⑦ 施設利用率は、類似団体平均を下回っており、効率的な施設利用が出来ていないため、改善が必要である。
 ⑧ 水洗化率は、類似団体平均を上回っているが、既に下水道整備が完了していることから、今後大幅な上昇は見込めない。

2. 老朽化の状況について

現在4施設ある農業集落排水処理施設のうち、最も早く供用開始した施設が平成10年である。供用開始からの経過年数が浅いため、管渠の老朽化は見受けられない。
 ただし、分析表の指標には計上されない施設については、管渠より早く耐用年数が経過することから、計画的な更新が必要である。

2. 老朽化の状況



全体総括

健全な経営を行うためには、市町合併により6施設となった農業集落排水処理施設の統廃合を行う等の抜本的な経営改善が必要であったため、平成22年度に下水道統廃合計画を策定し、公共下水道への統廃合により農業集落排水処理施設を最終的に2施設にまで減らす計画を進めている。
 平成28年度に1施設、令和元年度にもう1施設の統廃合を行った。また令和6年度に2施設の統廃合を進めている。
 今後も施設の統廃合等の抜本的な経営改善により、経営の効率化を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。